SONY

4-259-440-**03**(1)

デジタルフォト フレーム

DPF-D820/D720/D710

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

S-Frame

安全のために

➡37 ～ 40 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

37 ～ 40 ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1 年に 1 度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

お使いになる前に必ずお読みください

再生時に際してのご注意

AC アダプターはお手近なコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

著作権について

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

目次

安全のために

準備する

画像を見よう

いろいろな機能を使ってみよう

困ったときは

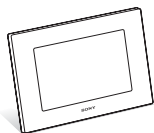
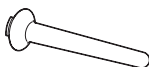
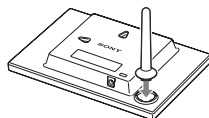
その他

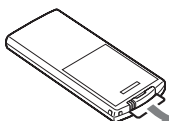
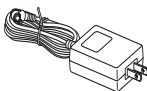
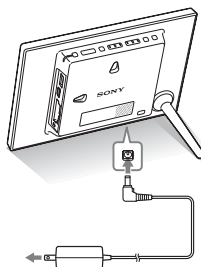
本書のイラスト、画面表示について
特に説明が必要な所を除き、
DPF-D720 を使用しています。

また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

デジタルフォトフレーム（1）

スタンド（1）

取り付ける。（9 ページ）

リモコン（1）

保護シートを抜く。（9 ページ）

AC アダプター（1）

電源をつなぐ。（11 ページ）

取扱説明書（本書）（1 部）
デジタルフォトフレームハンドブック[*1]（1 部）
保証書（1 部）
製品登録のおすすめ[*2]

本機の詳しい操作、設定方法については、別冊のデジタルフォトフレームハンドブック[*1]をご覧ください。

オーバーシーズモデル、ワールドワイドモデルについて

[*1]：同梱の CD-ROM 内「デジタルフォトフレームハンドブック」をご覧ください。

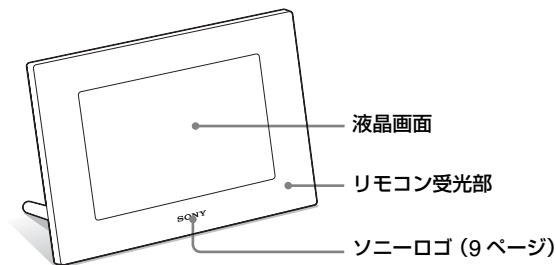
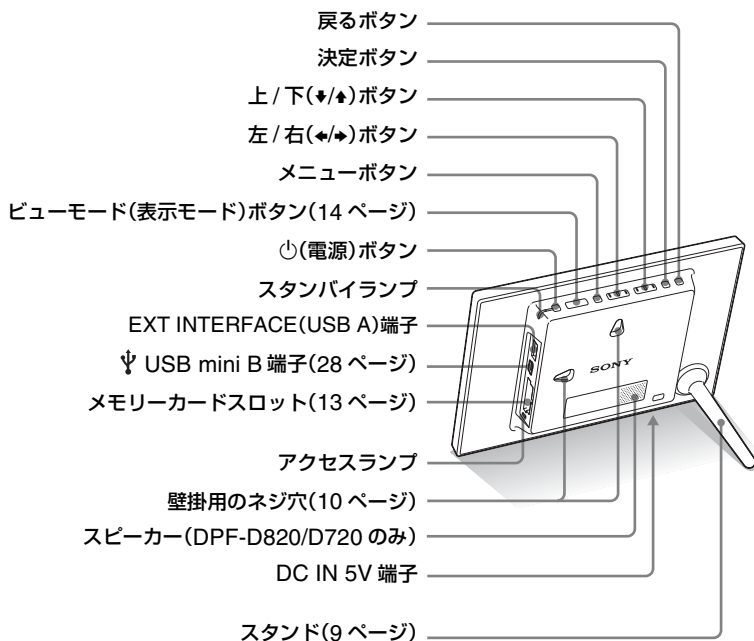
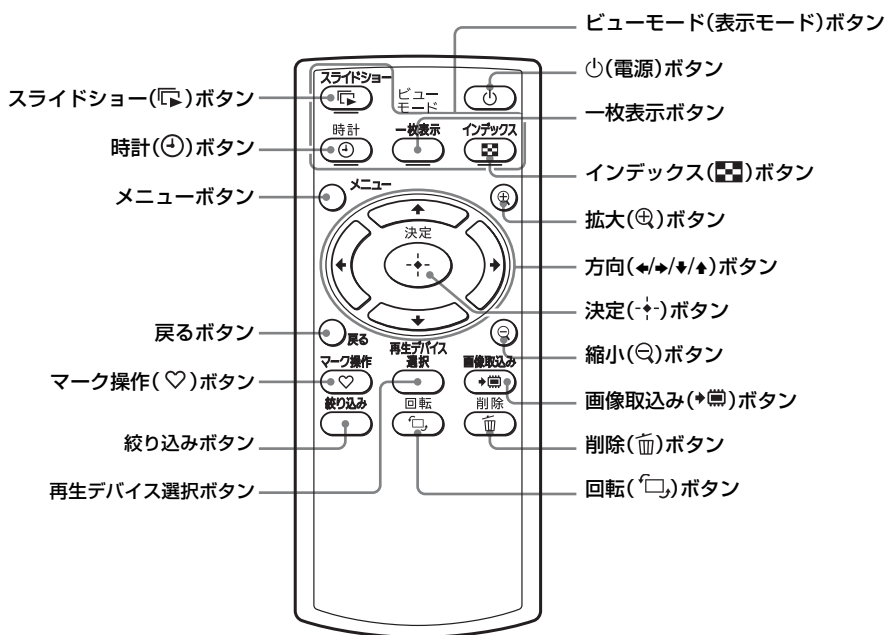
[*2]：同梱されていません。

各部の名前

■ デジタルフォトフレーム

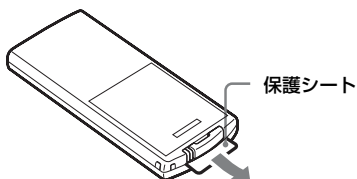
本体前面

本体背面

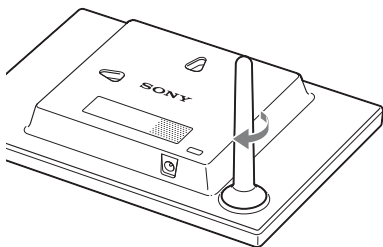
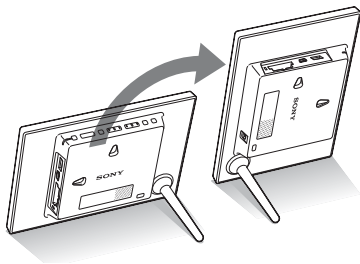
次のページにつづく

■ リモコン

本書での説明について
本書では本体ボタン操作を基本に説明しています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は、「ちょっと一言」で説明をしています。

リモコン

図のように保護シートを引き抜く。

リモコンを使うときは
リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

スタンド

スタンドを、時計方向に固定するまで回して取り付ける。

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。

ご注意

リモコンが動作しなくなったら
新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

交換方法：
ハンドブック（別冊）「リモコンを準備する」をご覧ください。

ご注意
指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。

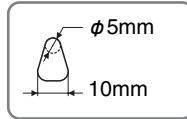
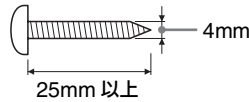
ちょっと一言

■縦向きの場合
表示も自動的に縦に表示されます。動画は、フレームの向きを置き換えても表示は回転しません。（DPF-D820/D720 のみ）

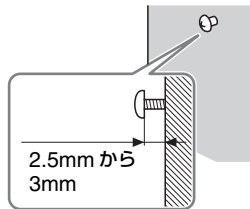
■Sony ロゴ
縦置き、電源 OFF 時には点灯しません。

次のページにつづく

壁にかけて使用する

1 本機背面のネジ穴に合う市販のネジを用意する。

本機背面のネジ穴

2 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から 2.5mm から 3mm、突き出した状態で壁に固定します。

3 本機背面のネジ穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

ご注意

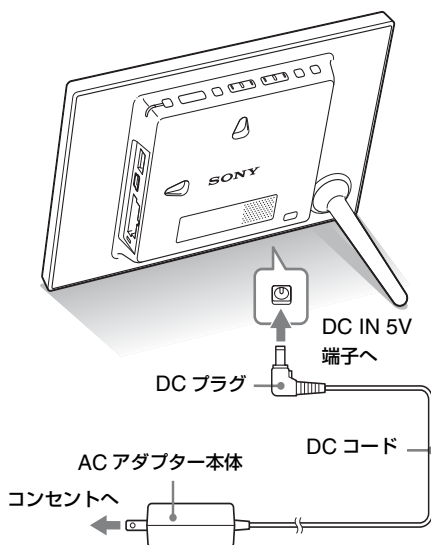
- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所で行ってください。
- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- DC コードを本機に接続してから壁にかけ、その後に AC アダプターをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 取り付けネジが緩んで本体が落下しないようにしっかりネジを締めてください。

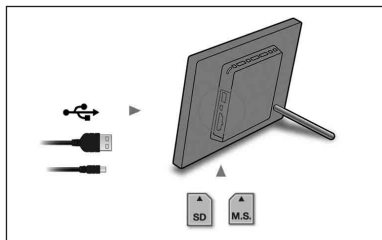
電源を入れる

1 ACアダプターのプラグを本機背面のDC IN 5V端子につなぐ。

2 ACアダプターをコンセントに差込む。
自動的に電源が入ります。

初期画面

電源を入れると、下の初期画面が表示されます。

ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN 5V端子から抜き、ACアダプターをコンセントから取りはずしてください。
- スタンバイランプが赤に変わる前に、電源を切ったり、ACアダプターをコンセントやDC IN 5V端子から抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 付属のACアダプターは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

ちょっと一言

■ 何も操作しないと
10秒が経過すると、デモモードが表示されます。

■ デモモードの解除方法
電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

時刻を設定する

1 **メニュー　⇨ 左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

上 / 下（↓/↑）ボタンで［時計設定］⇨ 決定ボタン

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［時刻］⇨ 決定ボタン**

上 / 下（↓/↑）ボタンで数値　⇨　左 / 右（←/→）（時、分、秒）設定完了 ⇨ 決定ボタン

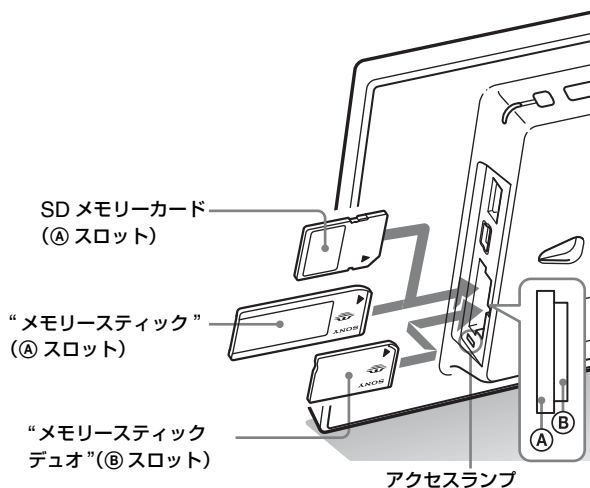
3 **メニューボタンを押す。**

同じ画面で以下の設定ができます。
設定方法は、上記の時刻設定と同じです。

設定項目

- 日付
- 日付表示順（年 - 月 - 日／月 - 日 - 年／日 - 月 - 年）
- 開始曜日（日曜日／月曜日）
- 12 時間・24 時間表示

メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードを挿入すると
カード内の画像が自動的に表示されます。

画像表示中に電源を切った場合は
再度電源を入れると画像は続きから再生されます。

アクセスランプが点滅しない場合は
挿入方向を確認し、再度差し込んでください。

A､B スロットについて
同時に挿入すると、正常に動作しません。

ご注意
以下のメモリーカードをお使いの場合は､必ずカードアダプターを装着してください。
そのままスロットに挿入すると､取り出せなくなります｡下図の右端のイラストのように､それぞれアダプターに装着した状態で､スロットに挿入してください。

❶ miniSD/miniSDHC

❶ miniSD/SDHC アダプター

❷ microSD/microSDHC

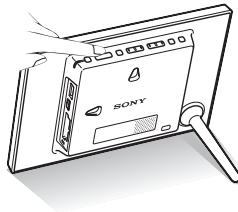
❷ microSD/SDHC アダプター

❸"メモリースティック マイクロ"

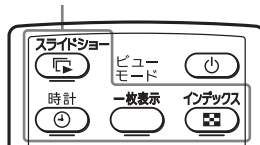
"M2" アダプター（スタンダードサイズ）

"M2" アダプター（デュオサイズ）

画面表示を切り換える

1　ビューモードボタンを繰り返し押し、お好みのビューモード画面を選択する。

ビューモード画面が表示されます。

リモコンから操作する

お好みの表示のビューモードボタンを押してください。

2　左 / 右 / 上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンでお好みのスタイルを選び、決定ボタンを押す。

選択したスタイルの画面が表示されます。

ビューモードの種類

表示	スタイル
スライドショー	シングル表示、マルチ表示、時計表示、カレンダー表示、タイムマシン、ランダム表示
時計・カレンダー	時計 1 ～ 11 カレンダー 1 ～ 3 陰暦カレンダー、アラビアカレンダー、ペルシアカレンダー
一枚表示	画像全体、画面いっぱい、画像全体（情報表示あり）、画面いっぱい（情報表示あり）
インデックス	インデックス 1 ～ 3

ご注意

一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動的に決定されます。

ちょっと一言

各スタイルの説明：
ハンドブック（別冊）「画面表示を切り換える」をご覧ください。

画面に表示される情報

次の情報を表示します。

① 表示タイプ(一枚表示時)

画像全体
画面いっぱい
画像全体（情報表示あり）
画面いっぱい（情報表示あり）

② 表示画像番号／全画像数

表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。

表示	意味
	内蔵メモリー
	“ メモリースティック ” 入力
	SD メモリーカード入力

③ 画像詳細表示

- **写真の場合**
- ファイル形式（JPEG（4:4:4)、JPEG（4:2:2)、JPEG（4:2:0)、BMP、TIFF、RAW）
- 画素数（画像の幅×画像の高さ）
- 画像入力機器のメーカー名
- 画像入力機器のモデル名
- 露出時間 （例：1/8）
- 絞り値（例：F2.8）
- 露出補正値（例：+ 0.0EV）
- 回転情報
- **動画の場合（DPF-D820/D720 のみ）**
- ファイル形式（AVI、MOV）
- 画像サイズ（動画の幅×動画の高さ）
- 再生時間
- ファイルサイズ

④設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 （E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。
	動画ファイル表示

⑤ 画像番号(フォルダー −ファイル番号)

非 DCF の画像の場合、ファイル名が表示されます。ただし、コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 10 文字が表示されます。

ご注意

英数字のみ表示対象になります。

⑥撮影年月日・撮影時間

動画を再生する
（DPF-D820/D720 のみ）

この項目ではリモコンでの操作を基本に説明しています。

1 画像ファイルを選ぶ。

① 一枚表示 ボタンを押す。
② 左 / 右（←/→）ボタンでお好みのスタイルを選び -◆- ボタンを押す。
③ 左 / 右（←/→）ボタンで画像を送り、再生したい動画を選択する。

インデックス表示で選ぶ

① ▦（インデックス）ボタンを押す。
② 左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで再生したい動画を選択する。

2 決定ボタンを押す。

動画の再生が始まります。

音量を調整する

動画を表示中、または一時停止中に上 / 下（↓/↑）ボタンを押してください。

再生を一時停止する

動画を再生中に -◆- ボタンを押してください。
再開するときは、もう一度 -◆- ボタンを押してください。

早送り／早戻しする

動画を再生中に左 / 右（←/→）ボタンを押してください。それぞれのボタンを押している間、早送り / 早戻しをすることができます。
ボタンを離すと、そこから再生が始まります。
ただし、動画ファイルによっては、本機で早送り / 早戻しができないものがあります。

再生を停止する

動画を再生中に戻るボタンを押してください。

ご注意

- 次のような動画ファイルは再生できません。
  - ビデオコーデックがMotionJPEG 以外
  - 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル

  （上記以外の動画ファイルの動作を保証するものではありません。）
- スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。

スライドショーを音楽といっしょに再生する

(DPF-D820/D720のみ)

音楽を取り込む

1 音楽ファイルの入ったメモリーカードを挿入する。

2 メニューボタンを押し、左/右(←/→)ボタンで (設定)タブを選び、上/下(↓/↑)ボタンで[スライドショーBMG設定]を選ぶ。

3 上/下(↓/↑)ボタンで[BGM取り込み]を選び、決定ボタンを押す。

4 上/下(↓/↑)ボタンで、手順1で挿入したメモリーカードを選択する。

5 音楽ファイル一覧から、上/下(↓/↑)ボタンで取り込みたい音楽ファイルを選び、決定ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

6 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順5を繰り返す。

7 音楽ファイルの選択が終わったら、メニューボタンを押す。

8 確認画面が表示されたら決定ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルが内蔵メモリーに取り込まれます。

ちょっと一言

- 選択したファイルを解除するときは、解除したい音楽ファイルを選択して決定ボタンを押してください。チェックマーク「✔」が消えます。
- 内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを削除するには、手順2の[スライドショー設定]画面で[BGM削除]を選び[決定]を押します。
  表示された音楽ファイル一覧から、上/下(↓/↑)ボタンで削除したい音楽ファイルを選び[決定]を押すと、選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。メニューボタンを押して確認画面が表示されたあと、決定ボタンを押すと選んだ音楽ファイルが削除されます。

ご注意

- 取り込んだ音楽ファイルは、スライドショーのBGMとしてのみ再生可能です。
- 再生できるのは内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルのみです。
- 内蔵メモリーに取り込める音楽ファイルは、最大で40曲です。
- 音楽ファイル取り込み選択画面では、200曲まで表示できます。
- 音楽ファイルは、ファイル名のみ表示します。曲名やアーティスト名は表示できません。

次のページにつづく

再生する音楽を選択する

1 **メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで 🧰（設定）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［スライドショー BGM 設定］を選ぶ。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［BGM 選択］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **取り込んだ音楽ファイルの一覧から、上 / 下（↓/↑）ボタンで再生したい音楽ファイルを選び、決定ボタンを押す。**

選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

4 **複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順 3 を繰り返す。**

5 **メニューボタンを押す。**

ビューモードでスライドショーを選択すると、チェックマーク「✔」をつけた音楽が再生されます。

スライドショーで音楽を再生する

1 **メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで 🧰（設定）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［スライドショー BGM 設定］を選ぶ。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで［BGM ON/OFF］を選び、決定ボタンを押す。**

「ON」：スライドショー中に BGM が再生されます。
「OFF」：スライドショー中に BGM は再生されません。

ご注意

- BGM の早送り／早戻し、曲順の変更はできません。
- 動画再生時、BGM は再生されません。動画の音声が再生されます。また、動画の後の静止画では、次の BGM の最初から再生されます。
- [BGM ON]に設定した場合でも、再生したい音楽ファイルが選択されていなければ、BGM は再生されません。

いろいろな機能

- 画像を取り込む（メモリーカードから内蔵メモリーへ）
- 画像を書き出す（内蔵メモリーからメモリーカードへ）
- 画像を削除する
- 画像にマークをつける

1 **画像を表示した状態で、メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）で（画像操作）を選ぶ。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで操作したい項目（内蔵メモリーに取り込み／書き出し／削除／マーク操作）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、[この画像□□]、[画像を選択して□□]、または、[全ての画像□□] を選び、決定ボタンを押す。**

□□：選択した操作によって、「（を）取り込む／（を）書き出す／（を）削除／に付ける・マーク操作・から外す（マーク操作)」のいずれかが表示されます。

- [この画像□□]：
  上 / 下（↓/↑）ボタンで保存先を選び、選び、決定ボタンを押してください。
- [画像を選択して□□]：
  画像一覧から、左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで画像を選び、決定ボタンで「✔」をつけます。
  複数の画像を選択したい場合はこの動作を繰り返します。

ちょっと一言

■ 取り込み

内蔵メモリー保存枚数

- リサイズ：
  約 4,000 枚（DPF-D820/D720）
  約 200 枚（DPF-D710）
- 原画サイズ：画像サイズによって異なります。

■ 書き出し

認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。

ご注意

■ 取り込み（DPF-D820/D720 のみ）

動画ファイルは、本体操作で内蔵メモリーに取り込みができません。動画を内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの動画を本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、(「コンピューターに接続する」(28 ページ)をご覧ください。

■ 書き出し中 / 削除中

本機、メモリーカード、データを破損する場合がありますので、以下のことをしないでください。

- 電源を切る
- メモリーカードを抜く
- 他のメモリーカードを挿入する

■ 削除

削除を開始すると途中で中止しても削除した画面を取り戻すことはできません。

次のページにつづく

選択を解除するには

解除したい画像を選択し決定ボタンを押すと「✔」が消えます。
画像確定後、メニューボタンを押してから、保存先を選んでください。
［全ての画像□□］：
全ての画像に「✔」がついた状態で表示されます。メニューボタンを押してから、保存先を選んでください。

4 確認画面が表示されたら、決定ボタンを押す。

画像を絞り込む

1 画像を表示した状態で、メニューボタンを押し、左 / 右（←/→）で（画像操作）を選ぶ。

2 上 / 下（↓/↑）ボタンで［絞り込み表示］を選び、決定ボタンを押す。

3 上 / 下（↓/↑）ボタンで絞り込み条件を選び、決定ボタンを押す。

- **日付で絞り込む：**日付から画像を絞り込みます。
- **フォルダーで絞り込む：**フォルダーから画像を絞り込みます。
- **縦写真／横写真で絞り込む：**画像の向きから画像を絞り込みます。
- **マークで絞り込む：**マークの種類から画像を絞り込みます。
- **動画／写真で絞り込む：**動画と写真で絞り込みます。

ちょっと一言

リモコン操作する場合、画像を表示した状態で絞り込みボタンを押してください。

ご注意

時計·カレンダー表示中は、（画像操作）タブを選択することはできません。

ご注意

■ 絞り込み中

本機、メモリーカード、データを破損する場合がありますので、以下のことをしないでください。

- 電源を切る
- メモリーカードを抜く
- 他のメモリーカードを挿入する

■ 絞り込みが自動的に解除される条件

- 再生デバイスを変更したとき
- メモリーカードの画像を検索し、そのメモリーカードを抜いたとき

4 左 / 右、上 / 下（◆/◆/◆/◆）ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

絞り込みを解除する

絞り込んだ画像を表示中にメニューボタンを押し、［絞り込み解除］を選び、決定ボタンを押します。

絞り込みの条件を変更する

検索した画像を表示中に戻るボタンを押して、絞り込み条件を選択します。

再生デバイスを選択する

1 メニューボタン ⇨ 左 / 右（◆/◆）ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選ぶ。

2 上 / 下（◆/◆）ボタンで表示したい再生デバイスを選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

■ 再生デバイスとは？
メモリーカードや内蔵メモリーのことです。

■ リモコンから操作する
再生デバイス選択ボタンを押してください。

ご注意

時計･カレンダー表示中は、▶（再生デバイス選択）タブは選択できません。

画像のサイズと位置を調整する（拡大 / 縮小、回転）

拡大 / 縮小

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［拡大表示］を選び、決定ボタンを押す。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、倍率を選び、決定ボタンを押す。**

倍率は 1.5 倍から、最大 5 倍まで選択できます。拡大した画像は上下左右に移動できます。

リモコンから操作する

一枚表示中に、拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押します。

トリミング保存について

- 拡大した画像を左 / 右、上 / 下（←/→/↓/↑）ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。
- 上 / 下（↑/↓ ）ボタンで保存方法を選びます。
  保存の種類：新規保存、上書き保存 *
  * 上書き保存できるのは、JPEG（拡張子：.jpg）ファイルだけです。

ご注意

- 拡大した場合、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 動画ファイルは、拡大 / 縮小ができません。

回転

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押し、左 / 右（←/→）ボタンで（画像操作）タブを選び、上 / 下（↓/↑）ボタンで［回転］を選び、決定ボタンを押す。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタンで、回転角度を選び、決定ボタンを押す。**

回転角度は、時計回りに 90 度、180 度、270 度の 3 種類から選ぶことができます。

リモコンから操作する

リモコンの（回転）ボタンを押しても、画像を回転させることができます。ボタンを押すたびに画像が反時計回りに 90 度回転します。

ちょっと一言

内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。

ご注意

- 拡大した画像は回転できません。
- 動画ファイルは回転できません。

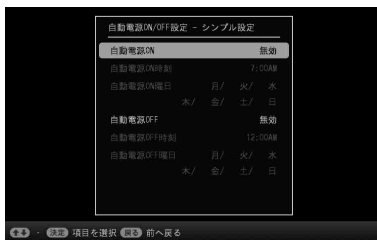
自動電源 ON/OFF の設定変更

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 **メニューボタン ⇨ 左 / 右（←/→）ボタンで （設定）タブを選ぶ。**

2 **上 / 下（↓/↑）ボタン［自動電源 ON/OFF 設定］⇨ 決定ボタン**

3 **上 / 下（↓/↑）ボタン［設定方法］⇨ 決定ボタン**
上 / 下（↓/↑）ボタン［シンプル設定］／［詳細設定］／［オートオフ設定］⇨ 決定ボタン

［シンプル設定］

① 上 / 下（↓/↑）ボタン［時間設定］⇨ 決定ボタン
② 上 / 下（↓/↑）ボタン［自動電源 ON］/［自動電源 OFF］⇨ 決定ボタン
③ 上 / 下（↓/↑）ボタン［有効］⇨ 決定ボタン
④［自動電源 ON 時刻］/［自動電源 OFF 時刻］設定
上 / 下（↓/↑）ボタン：数値設定
時計設定を［12 時間］にしている場合、AM か PM が表示されます。
⑤［自動電源 ON 曜日］/［自動電源 OFF 曜日］設定
上 / 下（↓/↑）ボタン：機能を使いたい曜日にチェックを入れる。カーソルを［OK］へ移動し、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

■ 使用中
自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。

■ スタンバイ中
自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

[詳細設定]

① 上 / 下（⬇/⬆）［時間設定］⇨　決定ボタン

② 左 / 右、上 / 下（⬅/➡/⬇/⬆）ボタンで設定／削除したい曜日、時間帯 * に移動し、決定ボタンを押し、時間帯の色を変える。

* 時間帯は、1 時間単位で設定することができます。

青色の時間帯 : 電源 ON の状態

灰色の時間帯：電源 OFF の状態

③ 左 / 右、上 / 下（⬅/➡/⬇/⬆）ボタンで［OK］を選ぶ。

[オートオフ設定]

① 上 / 下（⬇/⬆）ボタン［時間設定］⇨　決定ボタン

② 上 / 下（⬇/⬆）ボタン［2 時間］／［4 時間］／［無効］⇨　決定ボタン

4 **メニューボタンを押す。**

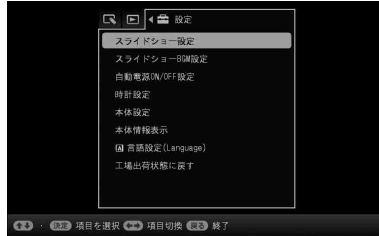
いろいろな機能を使ってみよう

設定を変更する

ご注意

- 本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示されます。
- 時計・カレンダー表示中は、（設定）タブのみ操作できます。

1 メニューボタン ⇨ 左 / 右（←/→）ボタンで（設定）タブを選ぶ。

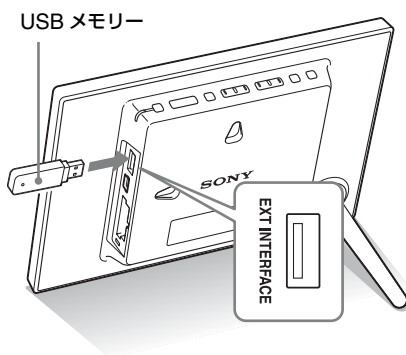
2 上 / 下（↓/↑）ボタンで設定項目・設定値を選び、決定ボタンを押す。

設定項目

- スライドショー設定
- スライドショー BGM 設定（DPF-D820/D720 のみ）
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定(画像表示順、Sony ロゴ点灯など)
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

USB メモリーの画像を表示する

1 AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。

2 本機の電源を入れる。

3 USB メモリーを本機の EXT INTERFACE（USB A）端子に接続する。

4 再生デバイス選択で USB 外部機器を選ぶ。（21 ページ）

スライドショーを行いたい場合は 14 ページ、内蔵メモリーに追加を行いたい場合は 19 ページをご覧ください。

ご注意

- 内蔵メモリーの再生中、USB A 端子に USB メモリーを接続すると、表示するデバイスは USB 外部機器に切り換わります。
- アクセスランプが点滅中に、USB メモリーを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。USB メモリーのデータを破損する場合があります。データの破損、消失については責任を負いかねます。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮された USB メモリーのデータは、本機ではご使用になれません。
- EXT INTERFACE（USB A）端子に USB メモリーを接続しているときに、同時に USB mini B 端子とコンピューターを接続しないでください。
- USBハブや、USBハブを内蔵した USB 機器は、正常に動作しない場合があります。

コンピューターに接続する

1 AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。

2 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。

3 本機の電源を入れる。

4 コンピューターから操作して、本機の内蔵メモリーと画像のやりとりを行う。

ご注意

- USB ケーブル * は、mini B-TYPE をお使いください。
  * 市販のUSB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の mini B-TYPE(フレーム側コネクタタイプ)をお使いください。
- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- EXT INTERFACE(USB A)端子に USB メモリーまたは外部部機器を接続しているときに、同時に USB mini B 端子とコンピューターを接続しないでください。

必要なシステム構成

■ Windows

推奨 OS: Microsoft Windows 7/Windows Vista SP2/Windows XP SP3

ポート　USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS: Mac OS X（v10.4 以降）

ポート　USB ポート

エラーメッセージ

エラーメッセージ	意味／処理
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（ハンドブック（別冊）「メモリーカードについて」）
メモリースティック／ SD メモリーカード／内蔵メモリーにエラーがあります。	• **メモリーカードの場合** 何らかのエラーが発生しています。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。 • **内蔵メモリーの場合** 内蔵メモリーは初期化を行ってください。 **ご注意** 初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
メモリースティック／ SD メモリーカード／内蔵メモリーへの書き込みエラーです。	
サポートしていないフォーマットです。	• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。 • 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 **ご注意** 初期化すると中のファイルはすべて削除されます。

故障かな？と思ったら

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？ • 下のマークが表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに 1 枚表示できない場合は、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → 左のマークが表示されている場合は、サムネイル用の画像データがないか、一画面表示できない画像ファイルです。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• 内蔵メモリー、メモリーカード内の画像枚数が 4,999 枚を超えていませんか？	➔ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 4,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	➔ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカード内に 8 階層を超えるフォルダーがありませんか？	➔ 8 階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
画面に動画が再生されない。	• インデックス表示、一枚表示で下のマークが表示されていますか？	➔ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応していない動画ファイルです。本機で再生できない動画ファイルに関しては、「動画を再生する」（16 ページ）をご覧ください。
早送り / 早戻しができない。	−	➔ 動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものがあります。
保存できない。	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	➔ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止、または誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	➔ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。 ➔ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	➔ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。（15 ページ） ➔ マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
何も反応しない。	−	➔ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。（11 ページ）

症状	チェック項目	対処方法
リモコンが反応しない	• 電池は入っていますか？	• 電池を交換してください。（ハンドブック（別冊）「リモコンを準備する」） • 電池が正しく入っていません。（ハンドブック（別冊）「リモコンを準備する」）
	ー	➔ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。 ➔ 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	➔ 保護シートを引き抜いてください。（9 ページ）

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。

この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、乾いた柔らかい布で汚れをふきとってください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機を廃棄するときのご注意

本機で [内蔵メモリーの初期化] を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。

本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

■ 本体

液晶画面

液晶パネル:
DPF-D820：8型 TFT駆動
DPF-D720/D710：7型 TFT駆動
総ドット数:
DPF-D820:1,440,000ドット
(800×3(RGB)×600)ドット
DPF-D720/D710:1,152,000ドット
(800×3(RGB)×480)ドット

有効表示画面

表示アスペクト比:
DPF-D820：4:3
DPF-D720/D710：16:10
有効表示画面エリア：
DPF-D820：7.9型
DPF-D720/D710：6.3型
総ドット数:
DPF-D820：1,398,897ドット
(789×3(RGB)×591)ドット
DPF-D720：987,000ドット
(700×3(RGB)×470)ドット
DPF-D710：998,976ドット
(704×3(RGB)×473)ドット

液晶バックライト寿命

20,000時間
(バックライトの輝度が半減するまでの時間)

入出力端子

USB端子(Type miniB、Hi-Speed USB)
USB端子(TypeA、Hi-Speed USB)
"メモリースティック PRO"(スタンダード／デュオ)／SDメモリーカード/MMCスロット

再生可能なファイルフォーマット

写真:
JPEG:DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF *1
TIFF: Exif 2.21準拠
BMP:1、4、8、16、24、32ビット Windows形式
RAW(簡易再生*2):
SRF、SR2、ARW(2.2まで)

(画像の形式によっては、対応できないことがあります。)
動画:MotionJPEG*6
最大解像度:726ドット×576ドット
音声圧縮形式:リニアPCM、μ-law、IMA-ADPCM
最大ビットレート 12 Mbps
最大フレームレート 30 fps(640×480)/25 fps(726×576)
音楽:MP3*6
サンプリング周波数:32/44.1/48 kHz
ビットレート:32 ～ 320 kbps

最大再生画素数

8,000ドット×6,000ドット*3

ファイルシステム

FAT12/16/32

画像ファイル名

DCF形式、256文字 8階層以下

最大画像ファイル数

内蔵メモリー、メモリーカード1枚につき4,999枚

内蔵メモリー容量 *4

DPF-D820/D720：2 GB
(保存ファイル数*5：約4000枚)
DPF-D710：128 MB
(保存ファイル数*5：約200枚)

電源 DC IN 端子入力、DC5V

消費電力

DPF-D820 :最大負荷時：11.0 W
通常モード：6.3 W
DPF-D710/D720 :最大負荷時：10.5 W
通常モード：6.1 W

次のページにつづく

動作温度
5℃～35℃

外形寸法（幅／高さ／奥行き）
DPF-D820：
（スタンドセット時）
約 233 mm×176 mm×111.6 mm
（壁掛け時）
約 233 mm×176 mm×28.8 mm
DPF-D720：
（スタンドセット時）
約 202 mm×141 mm×107.8 mm
（壁掛け時）
約 202 mm×141 mm×28.2 mm
DPF-D710：
（スタンドセット時）
約 202 mm×141 mm×106 mm
（壁掛け時）
約202 mm×141 mm×26.5 mm

質量
DPF-D820：約599 g
DPF-D720：約405 g
DPF-D710：約346 g
（ACアダプター含まず）

同梱品
「同梱品を確認する」（6ページ）参照

■ AC アダプター

定格入力
AC100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
0.4 A

定格出力
DC 5 V、2 A

外形寸法
約64 mm×50 mm×30 mm
（奥行／幅／高さ）
（最大突起部のぞく）

質量
約110 g（本体のみ）

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1 4：4：4、4：2：2、4：2：0 形式のベースライン JPEG
*2 ソニーデジタル一眼レフカメラ α シリーズの RAW ファイルサムネイルがそのまま表示されます。
*3 縦、横とも、17 ドット以上ある必要があります。縦横の比が 20:1 以上ある画像は正しく表示できない場合があります。
また、20:1 以下でもサムネイル表示や、スライドショーで表示されない場合があります。
*4 容量は、1MBを100万バイト、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約 1.9 GB（DPF-D820/D720）、約 100 MB（DPF-D710）です。
*5 保存枚数は、リサイズして画像取り込みを行った際の目安です。
リサイズして画像取り込みを行った場合、200 万画素相当に自動的にリサイズされます。被写体および撮影条件によって異なります。
*6 これらの条件を満たすファイルであっても、お使いのメモリーカードの性能や状態によっては、正しく再生されない場合があります。

商標について

• S-Frame、Cyber-shot、、"Memory Stick"、" メモリースティック "、MEMORY STICK、"Memory Stick Duo"、" メモリースティック Duo"、" メモリースティック デュオ "、MEMORY STICK DUO、"MagicGate Memory Stick"、" マジックゲートメモリースティック "、"Memory Stick PRO"、" メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick PRO Duo"、" メモリースティック PRO Duo"、 " メモリースティック PRO デュオ "、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、" メモリースティック PRO-HG Duo"、 MEMORY STICK PRO-HG DUO、"Memory Stick Micro"、 "メモリースティック

マイクロ”、MEMORY STICK MICRO、M2、
“Memory Stick-ROM”、“メモリースティック-ROM”、MEMORY STICK-ROM、
“MagicGate”、“マジックゲート”、
MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- SD ロゴは商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Monotype Imaging Inc. のフォントを搭載しています。iType™ は、Monotype Image inc. の商標です。
- 本ソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff
  Copyright © 1988 - 1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991 - 1997 Silicon Graphics, Inc.
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-D820/D720/D710
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
  – ご使用コンピューターの機種名
  – メモリー容量
  – ハードディスクなどの容量

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 5 年間保有しています。

⚠警告   下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

DC コードを傷つけない

DC コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- DC コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- DC コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、DC コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、電源の保護シート、“ メモリースティック ” などのメモリーカードや、デュオサイズの “M2” アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

DC コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

接触禁止

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。
持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりお持ちください。

指示

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

DC コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。

本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

ぬれ手禁止

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

指示

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない

指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.jp/s-frame/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.jp/memorystick/compatible/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	
フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「403」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ 製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「製品登録のおすすめ」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China